

浄土

monthly JÔDO

23

2021
February
March

令和3年

vol.87

no.951

〔特別企画〕

檀林入寺帳のデータ化の経緯と利用法 石川達也



「ぶつぶつ放談」

他宗を知ろう天台宗 その1

〔微風吹動〕

鬼と餓鬼―「鬼滅の刃」考― 石田一裕

法然上人讃仰会

古物漂流

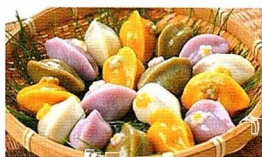
文と写真 ● 三宅政吉
(グラフィックデザイナー)

連載2 李朝木製台皿(餅台)

平和島骨董祭は東京の平和島にある東京流通センタービルで年五回、三日間にわたって屋内で開催される骨董市で、全国から二〇〇店以上の業者が集まる。昨年の十二月に出かけてみた。

李朝関連の民画や白磁、家具調度品を扱っている店の前に台皿が十数基並んでいた。ひとつ二〇〇円。店主に、これはいつごろのもんですかと尋ねると、李朝も終わりころだから一三〇年くらい前ですね。ご先祖さまに餅を供える祭器だけど、もう少し大きいとお盆の代わりもしていたのでしょうねとのことである。正月のお供え餅を乗せるのもおもしろいですねと言うと、そういう使い方はいいですねと笑顔で応えてくれる。材料はケヤキか松の樹で、輓轆で挽いてくり抜いたものだ。木目の美しいものを選んでひとつづつ買い求めた。

韓国に伝わる伝統的な行事に旧正月(旧暦の一月一日)と秋夕(旧暦の八月十五日)のふたつがある。秋夕には親戚一同が故郷に集まって先祖の墓参りをしたり、秋の収穫に感謝したりする。秋夕の慣わしは古く新羅時代に始まったらしい。いずれも茶礼と呼ばれるお供え用の食膳を準備する。その茶礼床には果物、菓子、焼き魚、干物、肉、鶏の丸焼き、餅、ナムル、汁物などが用意される。



秋夕に作られるソンピョン(松餅)は、うるち米の粉を水で練ったものに、小豆や栗、すりゴマと砂糖を混ぜたものなどを包み、松葉を敷いた蒸し器で作る



秋夕のお供え物を並べた茶礼の祭壇(茶礼床)。収獲したての新米、酒、果物、餅などを先祖に供える

この台皿も茶礼床に置かれ、サイズ的におそらく餅か菓子が乗せられたのだろう。私は正月用の白い丸餅を飾ってみようと思いついたのだが、朝鮮では実に多くの種類の餅が作られている。彩りも鮮やかである。そのなかでも秋夕に靈前に供えられるソンピョンと呼ばれる松餅は、米粉で作られるトック(餅あるいは団子)の一種で、松葉を敷いた蒸し器で作る。伝統的な朝鮮の食文化の象徴のひとつとして有名である。

この台皿は木製だが白磁の台皿もある。こちらは値段が高く、私が見るようなものではない。今ではステンドレスや合成樹脂の台皿も使われているようだ。



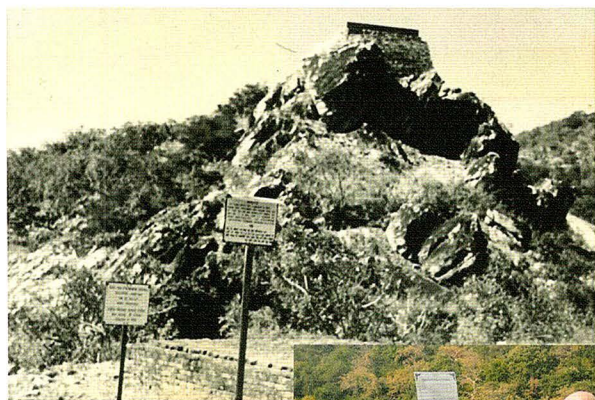
直径15.5cm、高さ7cm、底径7.5cm。130年という時間が経き上げた木肌の風合いがおいしい味を醸し出している

インド渡航歴40回超!

佐藤良純の No.9

インド・釈尊あれこれ紀行

王舎城



王舎城で有名な仏跡、靈鷲山。
50年前に筆者が撮影した



靈鷲山頂で祈る中国僧

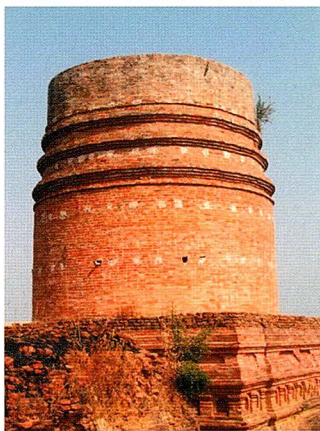
王舎城の悲劇で知られる王舎城は現在のビ
ハール州にある都市遺跡だが、色々の名前で
呼ばれ、文献には4種の異なった名前がみら
れる。マガダ国となる前の紀元前5世紀に栄
えた首都で、ビンビサーラ王、アジャータシャ
トル王が支配していた。この場所については、
7世紀にここを旅した中国の玄奘三蔵^{げんじょうさんざう}『大唐
西域記』に詳しい。地形的には5つの峰に囲
まれた盆地だが、盆地を囲む峰々の頂上には
仏教、ジャイナ教、ヒンズー教などの寺院が
建てられている。

仏教徒にはその中のギッジャクッタ、靈鷲
山が有名だ。山頂で釈尊が法華経など多くの
經典の教えを説かれた重要な仏跡である。説
かれた經典で有名なのは『法華経』だが、『法
華経』は大乘に属する經典なので後世に付加
されたものであろう。

『観無量寿経』によれば、アジャータシャト

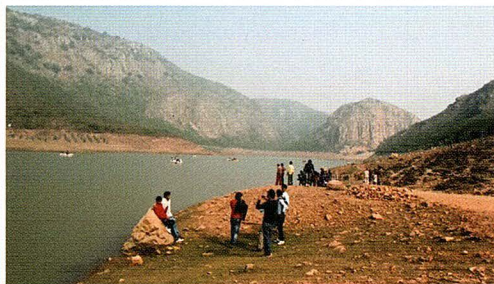
インド渡航歴40回超！

佐藤良純のインド・釈尊あれこれ紀行 No.9



珍しい円柱形のギリヤク ストゥーパ

現在は仏像が安置されているゴーラ カトラと呼ばれる湖



かつての形を残すバーンガンガー ストゥーパは、ダメーク塔の反対側に残る大塔の基壇跡で、ここから仏舍利が見つかった

ル王によって幽閉され精神的に追い込まれた
ビンビサーラ前王が、はるかに靈鷲山^{リョウじゆせん}を拝み
釈尊に助けを求めたところ、釈尊が空を飛ん
できて監獄を訪れ、前王を慰めたと伝えられ
ている。その監獄跡が残っていて、手錠も発
見されている。また、釈尊の時代の名医とさ
れたジューヴァカの庭園も近くにある。また、
釈尊が度々滞在され説法された竹林精舎はカ
ランダ長者が寄付したもので大きな池があ
る。そして竹林精舎の裏門の前には日本山妙
法寺のストゥーパが建っている。

釈尊が亡くなって後、何回かの比丘たちの
集会（仏典結集）が持たれているが、第一回が
王舎城の七葉窟で行われた。300人が集まっ
たとされるが、今残っている窟は狭く、その
真下にある人の手によって造られた広場がそ
の遺跡であろう。

靈鷲山につながる峰にギリヤク ストゥーパ

王舎城の中心部



王舎城は山々に囲まれている



今も残る王舎城の南側の壁

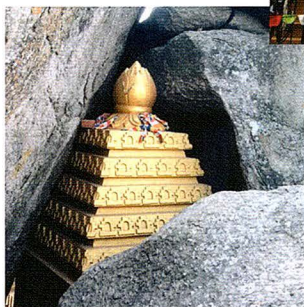
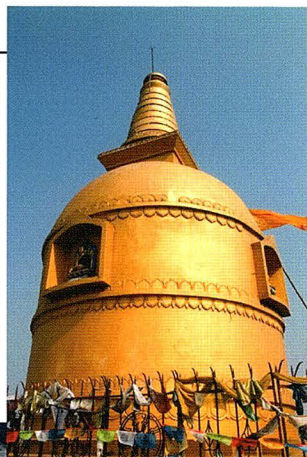
という丘がある。険しい丘を登ると頂上には円柱形の塔、ストゥーパが2基建っている。円柱形の塔は珍しい。また、霊鷲山の麓にはアジャータシャトル王が兵士や馬に水を飲ませたゴーラカトラと呼ばれる湖があり、湖のなかに仏像が安置されている。今ではボート遊びもできる。

王舎城内には人々が使用した馬車の轍の跡や、解読不能のシャンカ文字が残っている。南門の近くには城内では唯一完全な形で現存するバーンガンガー ストゥーパがある。また、王の金庫跡と思われるソーンバンダルもある。マニアル マートはヒンドウ教の寺の跡で、神々の像やかわけが散乱している。そして、王舎城にはインドには珍しい温泉が湧き出ている。東西に細長い地域にわたる温泉だが、大きい温泉は王舎城内とジェティアンの西にある。



霊鷲山山頂でメモを録る筆者

鶏頭山（タルバ）に建つストゥーパ



同じく鶏頭山の岩の隙間に
建てられたストゥーパ

佐藤良純

大正大学名誉教授

さとうりょうじゅん 昭和7年東京生まれ。大正大学、
同大学院、インドデリー大学院に学ぶ。昭和34年より大
正大学で教鞭をとり、教授、学科長を経て、平成14年退
職、大正大学名誉教授となる。インドへの初渡航は昭和
38年、以来インドへ訪れること、40有余回。著書に『ブッ
ダガヤ大菩提寺』、『釈尊の生涯』など多数。

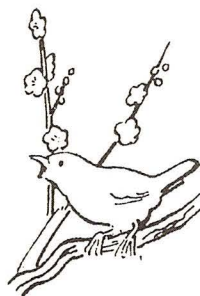
王舎城は南北に石垣で作られた長い城壁があり、北側には新王舎城の跡が残っている。玄奘三蔵は南西の方角、ジェティアンから王舎城に入った。そこで玄奘三蔵は使っていた竹の杖を地面に突き刺したところ、そこから竹がはえ、竹林になったと伝えられている。王舎城の東、車で2時間ほど行った所にグルパと呼ばれている鶏足山が聳えているが、カッサパ尊者が禪定に入られた所で、600段の階段の上に岩の割れ目があり、その先に3メートル位の鉛筆の形をしたストゥーパが建てられている。

霊鷲山や竹林精舎が有名だが、王舎城内外には他にも多くの仏跡が残っている。

浄土

2021/2・3月号 目次

連載インド紀行⑨「王舎城」.....	佐藤良純	1
【特別企画】檀林入寺帳のデータ化の経緯と利用法...	石川達也	6
寺々刻々⑧ エンディング産業最前線.....	鶴飼秀徳	14
ぶつぶつ放談「他宗派を知ろう・天台宗 その1」.....		18
漫画「浄土宗のお祖師様」二祖聖光上人②.....	ぐんじまん	27
微風吹動「鬼と餓鬼」—鬼滅の刃考—.....	石田一裕	30
『浄土』アーカイブ 法然上人讃仰会の経過 前編.....	佐藤賢順	34
江戸 日本の街道探訪 第二回.....	森 清鑑	36
みんなの境内 改定増補『聖者弁栄』〈文書伝導のつとい「てるふる」〉.....		43
編集後記.....		44
表2 古物漂流②.....	三宅政吉	



表紙題字＝中村康隆元浄土門主

表紙写真＝若林隆壽

アートディレクション＝近藤十四郎

『増上寺入寺帳データベース』 『関東十八檀林入寺帳データベース』

そのデータ化の
経緯から利用法まで

石川達也

いしかわ・たつや

1978年千葉県生まれ。千葉県・館山・大蔵院副住職。大正大学大学院を満期退学。江戸時代の浄土宗を中心に調査研究している。飯沼弘経寺天樹学寮・大蔵寺宝物殿・念仏行者徳本上人研究会にも関与している。

寺院の歴史を調べるには

「うちの寺には古いものは何も残っていない」

寺院の歴史について問い合わせると、このように話す住職とたまにお会いする。特に大きな震災や空襲に遭った地域の寺院は、什物や記録がすべて焼け尽くされてしまったのだろう。しかし関連する寺院の歴史資料を丹念に見ていくと、その寺院に関する記述が出てくることもある。

近年、増上寺と浄土宗神奈川教区から刊行された『増上寺入寺帳データベース』『浄土宗関東十八檀林入寺帳データベース』という2枚のCDがある。このデータベースを活用することで、寺院の歴史の一端が見えてくるかもしれない。

入寺帳とは学籍簿

入寺帳とは何か。簡単に言うと、江戸時代の檀林の学籍簿だ。江戸時代は浄土宗の正式な僧侶に

なるには、たとえ九州の人であろうと関東にある18の檀林で修行しなければならなかった。一般的に15歳になると檀林の学寮に入るのだが、その時に所化（修行僧）の名前やその所属寺院と師僧の名前などが入寺帳に記載される。つまり入寺帳を見れば、記載された時期に誰がその寺院の住職を勤めていたのか突き止めることができるのである。

たった一人で入寺帳データベースを作成

入寺帳は増上寺と一部の檀林寺院に所蔵されている。増上寺には増上寺分が34冊、諸檀林分が49冊所蔵される。しかしこれだけあっても江戸時代すべてを網羅している訳ではなく、抜けている時期も多い。何人かの研究者が入寺帳を分析して論文を書いているが、量が膨大であるためこれを全部翻刻してデータ化しようという人はいなかった。しかし、その膨大な入寺帳データベースの作成をたった一人でおこなった人がある。八王子市

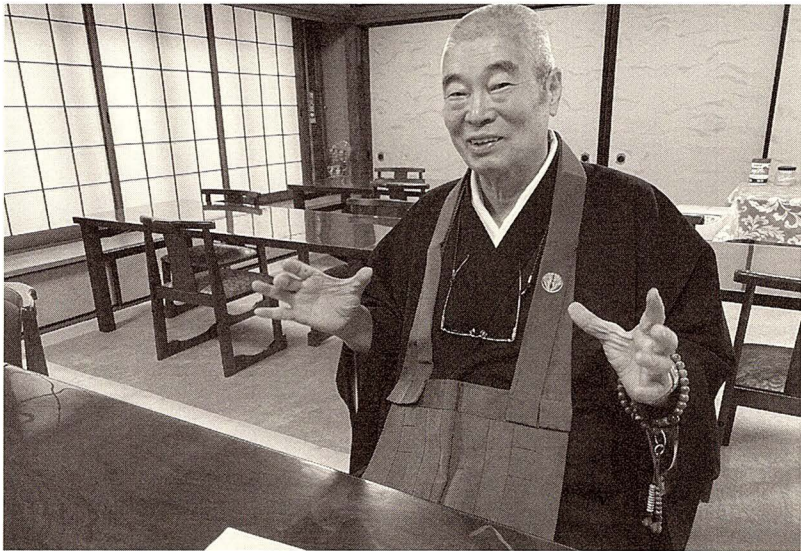
興林寺の阿川雅俊住職だ。そこでなぜ入寺帳のデータベースを作ろうと思ったのか、その理由を尋ねるために興林寺へ伺った。

【阿川雅俊住職インタビュー】

——入寺帳データベースを作った動機を教えてください。

阿川雅俊住職（以下阿川） もともと子供が夏休みの自由研究に何をしたらいいかと聞いてきたので、当山二十三世榮全上人の墓碑に刻まれた文字を現代の言葉に直したらどうかと答えたのです。

しかし実際に読んでみるとなかなか難しく、大学の中からお世話になっている宇高良哲先生（大正大学名誉教授）にお聞きしたところ、さらさらと読んで下さいました。子供の自由研究は無事に出せたのですが、碑文には具体的な地名があつて榮全上人の足跡をた



入寺帳への熱い想いを語る阿川雅俊興林寺住職

どって実際に歩いてみようと思いましたが、歩いているうちに不思議と史料がいろいろと出てきたのです。それを宇高先生に話したら、増上寺に入寺帳があることを教えて下さいました。そこで増上寺に伺って榮全上人が修行した靈巖寺の入寺帳を見せてもらいました。

最初は榮全上人が載っているわけがないと思っていたので、ひとまず写真だけ撮らせていただいて、後日何となく写真を眺めていると「榮全」という名前が出てきたのです。入寺帳から榮全上人が靈巖寺で学寮主を勤めていて、さらに月行事になっていることも分かりました。そして榮全上人の足跡をまとめたのが『榮全上人を追いかけて』という本になります。

これが入寺帳との出会いなのですが、なぜ私に入寺帳が突きつけられたのかと考えていると、「寺門興隆のため一生懸命やったのを誰か分かっている」という江戸時代の僧侶の声が聞こえるよう

な気がして、とりあえず入寺帳をデータにしようと思いました。最初は増上寺だけのつもりだったのが、ここまで来たのだからもう一冊やってみよう、また一冊と……。そうこうしているうちに増上寺以外の檀林にも入寺帳が残っていることが分かり、鎌倉光明寺や瓜連常福寺へも伺って写真を撮らせていただきデータの入力をしました。作成にかかった月日は、通算で10年くらいです。最初の頃は行きつ戻りつで、3回調べ直したこともありましたが、とにかく誰でもが検索できる道具になればいいと思って入寺帳データベースを作っていました。

——データを作成していて印象に残ったことはありますか？

阿川 15歳の子供が全国から集まってきた檀林で何年も修行するのですが、その半数近くが途中で亡くなっているのですよ。こんなに命がけで地方から来て、何年も修行して地方に帰っていったの

だからこそ、寺子屋教育によって文字や知識が日本の隅々まで行き渡ったのだと思います。明治維新で外国の文化が入ってきて、それをうまく取り込んで活用できる知恵が付いたのだと思います。

——データ作成で大変だったところはどこですか？

阿川 とにかく量がたくさんあったことです。撮影するだけで1週間くらいかかってしまつて、かがんで写真を撮っていたので腰が痛くなつたり、しまいには家族に「いい加減しろ」と呆れられました。でもやっているうちに思ったのは、たくさんあったとしてもここまでくれば終わりのだと意識して、データも1日100件を目標に入力しました。一番たくさんやった時は、朝8時から始めて夜中の2時まで、ということもありました。またくずし字を読む基本が備わっていないので、

達筆すぎる字は何日やっても分からないのです。また、ある時点で入寺帳の書き手が替わることもあるのですが、次の人は楷書で書いていると、前では読めなかった箇所がこっちでも出てきたりして、これはこう読むのだと分かつて夜中にも関わらず「やったー」って大声を出して家内をびくりさせたこともありました(笑)。

——このデータベースを作って何か反響はありましたか？

阿川 ある住職が「お寺の史料は戦災で全部燃えてしまつて、私が何代目の住職なのか分からない。途中の住職の名前も分からない」と言っていたので、入寺帳データベースからそのお寺の歴代住職に関わる記述を抜き出してお渡ししたら「そんなに分ったのですか」って驚かれていました。また『中外日報』に記事を出していただいた時に、手紙をくださったお寺さんもありました。入寺帳データベースで歴代が完全に分かるものでもないの

すが、こういう調べ方があるのはあまり知られていませんね。

入寺帳を実際に使うには

『増上寺入寺帳データベース』を実際に使ってみよう。データはエクセルになっている。項目は①入寺年月日、②入寺時の資格、③法名、④出身（国名・所属寺院名・師僧名）、⑤現寺院番号だ。①は修行僧が檀林に入寺した年月日である。②は大きく極新来・他山・帰山に分かれる。極新来は初めて檀林に入ったことをいい、他山は他の檀林から移転してきたことをいい、帰山とは一度他の檀林に移って再び戻ってきたことをいう。③法名は修行僧の名前である。④は出身寺院の地名・寺院名、さらに師僧の名前が分かるものは載せている。⑤では現在の寺院番号を表記している。極楽寺など同名の寺院があっても寺院番号で絞り込むことができる。

例えば千葉教区寺院番号40の大巖院で検索してみると、14名の修行僧がヒットする。大巖院の住職が師僧となつて14名の修行僧が増上寺の学寮で修行したことが分かる。これまで歴代住職の名前は分かっている、いつからいつまで住職をしていたのか分からないことは多いと思うので、このデータベースが一つの根拠になるだろう。同様に『浄土宗関東十八檀林入寺帳』では増上寺以外の檀林（川越蓮馨寺と結城弘経寺、江戸崎大念寺の入寺帳は現存しない）の入寺帳を検索することができるので寺院の歴史を調べるのに活用していただきたい。

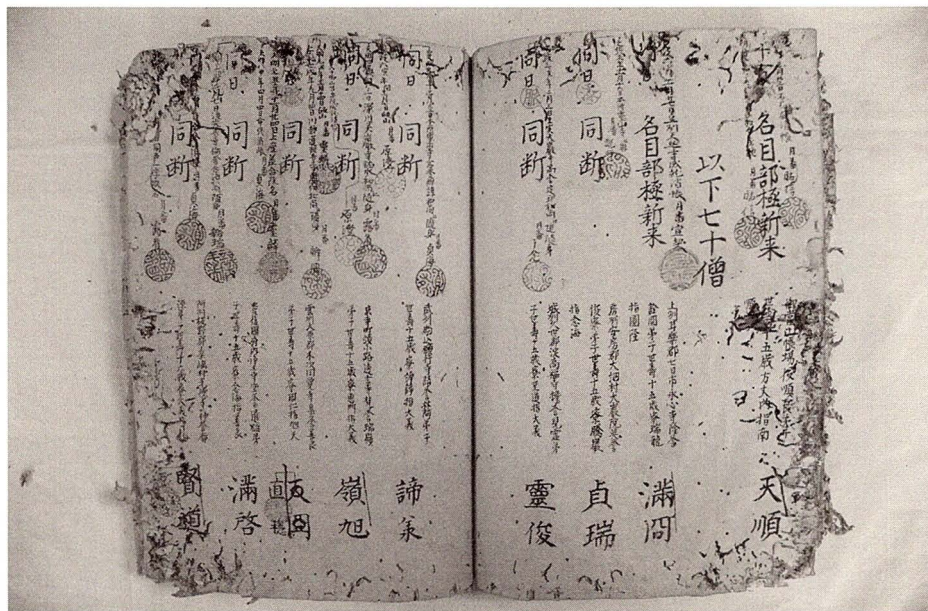
入寺年月日	入寺時の資格	法名	出身(国名・所属寺院名・師僧名)	現寺院番
延寶2 106	願義極新来	典達	房州大綱大岩院	千葉40
元文2 111	名目極新来	春波	房州大綱村大巖院精養庵辨	千葉40
寛保3 111	名目極新来	竜音	房州大綱大巖寺精養庵辨	千葉40
明和2 111	名目極新来	俊隨	房州大綱大巖院到誓俊察	千葉40
安永4 111	名目極新来	俊哲	房州大綱大巖院到誓俊察	千葉40
安永6 111	名目極新来	貞瑞	房州安房郡大綱村大巖院英峯俊察	千葉40
寛政11 111	名目極新来	字隨	房州安房郡大綱大巖院綠峯俊隨	千葉40
寛政11 111	名目極新来	俊榮	房州安房郡大綱村大巖院綠峯俊隨	千葉40
嘉永5 12 27	他山選擇	玄雄	安房國安房郡大綱村大巖院秀峯俊榮	千葉40
嘉永5 12 27	他山願義	貞仁	安房國安房郡大綱村大巖院秀峯俊榮	千葉40
嘉永6 3 21	他山名目	秀巖	安房國安房郡大綱大巖院秀峯信栄	千葉40
安政3 111	名目極新来	慧定	房州大綱大巖院但誓龍心	千葉40
文久1 9 25	他山選擇	禪達	房州安房郡大綱大巖院仙々禪超	千葉40
慶應3 10 25	他山選擇	快遊	房州大綱大巖院中誓正隨	千葉40

CD にデータベース化された画面(千葉・大巖院)

入寺帳データベース CD と『榮全上人を追いかけて』



データベース化のきっかけと
なった榮全上人の墓



実物の増上寺入寺帳（増上寺所蔵 撮影/石川達也）

【入寺帳データベースCDの入手方法】

『増上寺入寺帳データベースCD』

頒価 1枚1,000円

浄土宗大本山増上寺

105 0011 東京都港区芝公園4-7-4

03 3432 1431

出版課 syuppanka@zojiji.or.jp

『関東十八檀林入寺帳データベースCD』

頒価 1枚2,000円

浄土宗神奈川教区教務所

248 0013 神奈川県鎌倉市材木座6-17-19

0467 22 2476（電話は月～金曜日9時30分から
16時30分まで）

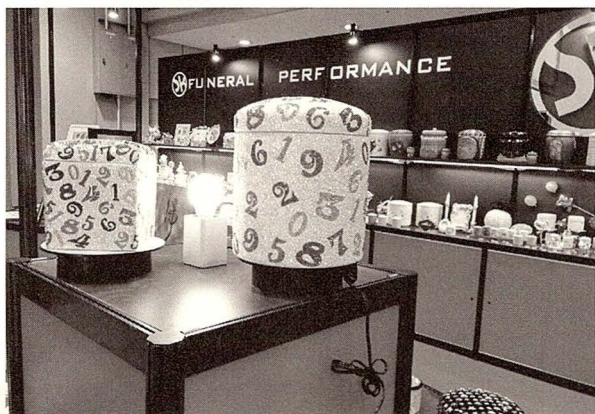
『寺院消滅』『教養としての仏教』著者

鵜飼秀徳の

寺々刻々

エンディング産業
最前線

ド派手なクリスタル骨壺

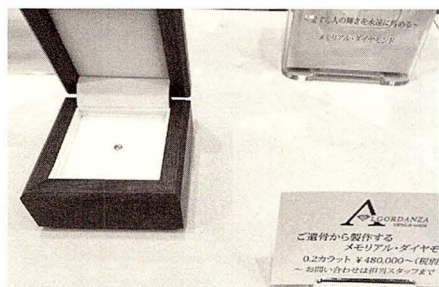


毎秋の恒例が、東京ビッグサイトで実施される「エンディング産業展」だ。これは、主に葬送に携わるプロ（寺院、葬儀社、仏具店など）のための見本市である。7回目となる今年はコロナ禍で開催が危ぶまれたが、流行が鎮静化した時期を見計って実際の会場とオンラインとで同時開催した。私はオンラインの会場ツアーに参加。例年は2〜3万人を動員するが、今年はおよそ1万4000人であった。

かつては葬送にまつわるアイテムやサービスといえば保守的で、アナログで、雰囲気暗く、画一的なものが多かった。しかし、会場の展示をみると現代の葬送事情を反映した、なかなか刺激的な内容のものが少なくない。

クリスタルがあしらわれたド派手な骨壺や、表面にプリント加工が施された棺桶などの奇抜な葬送アイテムが目をひく。葬送が簡素化・縮小化する一方で、現代人は「自分らしい」葬送を求める傾向にあるように思う。

産業展で時代の変化を感じたのはまず、デジタル技術を駆使した葬式アイテムが急拡大していることだ。たと



遺骨に高温・高圧をかけて人工ダイヤモンドにする手元供養サービス

コロナ感染症の時流をとらえた
オンライン葬儀システム



えば、訃報案内もスマホで行う時代である。遺族がメールやSNSなどを利用して、訃報案内を知人に発信し、事前に出欠のリストが作成できる。また、実際の会場を訪れた参列者は、スマホをかざすだけで記帳受付ができたりする。これは感染症蔓延時における非接触の記帳法としても有効だろう。今後、葬儀のIT化はますます拡大していきそうだ。

さらに印象的だったのは、葬送アイテムのダウンサイジングである。墓石や納骨堂、仏壇などがこじんまりしてきている。墓を持たない究極の埋葬法としては、「手元供養」がある。これは遺骨をずっと手元に置いておく供養法。遺骨を洒落たガラス容器に入れたり、ペンダントにして身につけたりするものだ。

遺骨を人工ダイヤモンドにし、アクセサリとして身に着けるサービスがある。子どもを持たない夫婦のどちらかが先立ったケースなどの需要があるという。

遺骨ダイヤモンドは数十万円以上と高価だが、墓を買わないのでトータルとしてコストが抑えられる。しかし



ミニバン型の霊柩車。これが走っていても霊柩車とは気付かない

ドライアイス不要の遗体安置装置



紛失した場合は覆水盆に返らないことにもなりかねない。また手元供養は遺骨を「相続」した相手が、その扱いに困惑しそうだ。

「エコロジー」も葬送業界は意識している。近年、SDGs（持続可能な開発目標）に基づく気候変動対策は、業界の大事なテーマである。

それが、棺桶の変化にも現れている。通常、棺桶は桐などの木材を加工して作られる。遺体の重量にも耐えうる強度が必要で、厚みのある板材のほか、釘や接着剤などが使われる。しかし、火葬されるため、地球温暖化ガスが排出される。日本は既に多死社会を迎え、2030年の死者数は年間160万人に達するといわれている。地球環境に優しい棺桶の普及は喫緊の課題だ。

そこで、段ボールでできた「エコ棺」が登場した。体重200kgにも十分耐えられる強度を誇り、使用する木材も3分の2程度で済むという。将来的には、棺桶が再使用される時代がやってくるかもしれない。

霊柩車もエコになっている。そういえば最近、霊柩車

うかいしゅうとく 1974年京都市生まれ。大学卒業後、新聞・雑誌記者を経て2018年にジャーナリストとして独立。「仏教界と社会との接点づくり」をテーマに活動が続ける。著書に「仏教抹殺」(文春新書)「ビジネスに活かす教養としての仏教」(PHP研究所)など多数。新刊に「仏具とノール賞 京都・島津製作所創業伝」(朝日新聞出版)。東京農業大学・佛教大学非常勤講師、一般社団法人「良いお寺研究会」代表理事。京都教区正覚寺副住職。

エコロジ的な段ボール棺桶



を見かけなくなっているのではないだろうか。かつては、「宮型」と呼ばれる、神輿が乗った霊柩車がスタンダードだった。ベースカーも輿の重量に耐えうるキャデラックなどのアメ車が使われた。しかし、最近の霊柩車の主流はハイブリッドカーや軽自動車のバンド。だから、霊柩車だとは誰も気づかないわけだ。そしてこれはコストをかけない簡素な葬儀にもつながっている。

葬送は結婚式と同様に、流行り廃りがあるもの。新しい技術を取り入れながらも、佳き葬送文化は守っていかねばならない。合理性だけで「ミニマム化」に飛び付いたり、便利だからといって何でも「デジタル化」という流れはどうかとも思う。スマートな葬送は、「死」の概念をも遠ざけかねないからだ。死を意識することは、限りある生を大事にすることにもつながる。街に霊柩車が走っているのを見て、「親の死に目に会えなくなるから親指を隠せ」と教えられたような葬送の風景は、ずっと残していきたいものだ。

浄土宗の青年僧侶に伝えたい

ぶつぶつ 放談

他宗派を知ろう「天台宗」①

今号からは「他宗派を知る」をテーマに、各宗派の方へのインタビューを連載します。最初は天台宗、法然上人も天台僧でした。3回にわたりお届けします。(聞き手・村田洋一 編集・服部祐淳)

◆登場者◆

坂本観泰

さかもと・かんたい



1964年 東京都世田谷区生まれ。知行院住職。学習院大学法学部卒業後、本山交衆(三年籠山)に入行、平成二年延暦寺一山檀那院(非法人)住職拝命。1996年州立バージニア大学大学院にてM.A.取得。全日本仏教青年会理事長、世界仏教徒青年連盟(WFBY)会長代行を務める。現在、天台宗東京教区宗務副所長。

木内堯大

ぎうち・ぎようだい



1974年 東京都墨田区生まれ。如意輪寺住職。早稲田大学第一文学部哲学科東洋哲学専修卒業。大正大学大学院修了。博士(仏教学)。大正大学非常勤講師を経て、大正大学仏教学部特任准教授。天台宗総合研究センター研究員。大学では天台学、及び日本文化と仏教の関わりに関する講義を担当している。著書『日本人のこころのことは 最澄』(創文社)、『仏教の教えを築いた人々』(宗教工芸社)他多数。

京戸慈仁

きよとど・じにん



1969年 東京都葛飾区生まれ。西光寺住職。青山学院初等部へ入学後、毎日礼拝堂で聖書を読み讃美歌を歌い牧師の話を聞く。同大学文学部史学科卒業後、都会を離れ比叡山麓叡山学院へ入学。比叡山坂本は第二の故郷。卒業後は法務の傍ら声明公演などを中心に活動。現在天台宗東京教区教務主任。

◆天台僧侶になる資格と行について

京戸慈仁師（以下京戸） 浄土宗僧侶の方と同じだと思いますが、まずは師僧につきます。そして師僧の下で教えを受け修行して得度を許されます。得度は本山以外の寺院でもできますが、ほとんどが本山で受けています。

御座主直々から得度を受け、最低でも半年を経たうえで加行が受けられるようになります。得度は10歳から許されますので、10歳で得度、大正大学（天台宗の宗立校）に入学し、2～3年生の時に加行を受けるのがおおよその流れです。

木内堯大（以下木内） 加行の資格はそれに加え、高校卒業という決まりがあります。逆に言うど得度を受けて高卒であれば誰でも加行を受けられる。研修施設への入行も必須ではありませんので、これが宗立大学への入学

者の少なさにつながっている側面もあります。聞き手（以下） なるほど、加行はどのくらいの期間でしょうか。

京戸 比叡山で2カ月間です。前半の1カ月が基礎的な教義や儀式作法を習得する前行、後半が法要や護摩行などの四度しど加行けぎょうです。

前行では朝は5時半起床、清掃、勤行、朝食、講義、昼食、講義・法要、非食（夕食）、講義を経て10時就寝となります。これが加行に入ると、2時起床、取水しゅすい（お水取り）、護摩供、清掃、勤行、朝食と続き、護摩供を一日三座、この間に伝法や講義や道場莊嚴や作務が入りますのではば分刻みのスケジュールで進められます。行院生ぎょういんせい（修行僧）は腕時計の秒針をみなあわせていて、「では27分から29分まで休憩」といった具合に秒単位で動きが決められることもあります。

戦前は各寺院で修行していましたが、戦後

はそれが難しくなり、カリキュラムを決めて主に比叡山で行われるようになりました。

―一番つらいのは何でしょう？

坂本観泰（以下坂本） 前行になります。一日三回の法要ごとに108回の礼拝を行います。行院生によつては眠いのがつらい、正座がつらいといった具合に様々ですが。

―途中でつらさに耐え切れず、山を下りる行僧はいますか？

坂本 その時によつて様々ですね。17人受けて9人しか残らなかった時もあれば、ご年配のご婦人が満行される時もあります。

木内 春、夏、秋と加行が行われますが、夏は寺院のご子息が多いので比較的下山は少ないですね。みんな後継ぎで、お寺を背負ってきていますから。春、秋には寺院関係ではなく、自ら志してくる年配の方もいらっしゃるので、「思っていたのと違う」「これは私には

無理です」という方もいて、下山が少し多い傾向にあります。

―浄土宗ではあまりに素行不良の場合、下山させることもありますか？

京戸 素行不良で下山というケースはあまり聞いたことがないですね。大体はついていけなくて自ら下山するケースが多いと思います。

◆天台宗の僧侶分限、寺院組織について

―ありがとうございます。次に法服や教階、学階など僧侶の階級などに関する事をお聞きかせてください。

京戸 衣に関しては天台宗も黒衣こくえから始まって木蘭もくらん、玉虫色たまむしいろ、松襲まつぎぬ、紫衣しえ、緋衣ひえと浄土宗と近い色分けかと思っています。僧侶分限に関する規定もやはり似ていますね。

―浄土宗が倣ならったのですか（笑）。

木内 そのほか袴と五条袈裟などの色も僧階

天台宗 とは

開 祖 最澄（伝教大師 767～822）

開 宗 806年

寺院数 3323カ寺

信徒数 1,533,998人

参考 令和元年『宗教年鑑』の天台宗系の寺院数4482カ寺、

信徒数2,922,899人

主な経典 『法華経』

独自の行事 さんげえ山家会 最澄の忌日（822年6月4日）に修する法会

霜月会 智顗の忌日（597年11月24日）に修する法会（天台会）

大般若転読会 国家安穩、家内安全、厄難消除などを祈願する
法会。『大般若波羅蜜多經』600巻を転読する

主な名僧 円仁（794～864年） 源信（942～1017年） 天海（1536～1643年）

主な寺院 延暦寺 妙法院（三十三間堂） 三千院 寛永寺

輪王寺 中尊寺 善光寺大勧進など

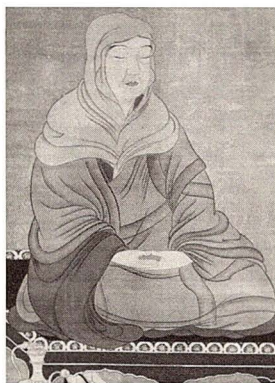
起源 中国の僧侶智顗（538～597年）が晩年過ごした杭州の天台山で過ごし、
天台大師と呼ばれ、かつてその教えは天台教学と称された。

教え 第一 全ての人は皆、仏の子供とした（悉有仏性）

第二 悟りに至る方法を全ての人に開放した

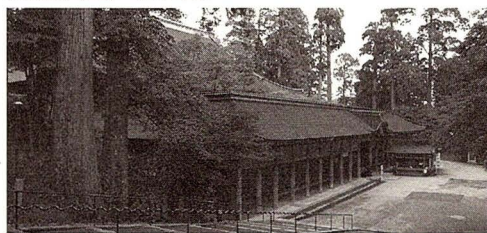
第三 自分自身が仏であることに目覚める

第四 一隅を照らす



伝教大師

比叡山延暦寺 根本中堂



によって決められていますし、浄土宗という
領帽りやうぼうにあたる帽子は広学堅義こうがくけんぎという試験を合
格しなければ被着は認められません。

伝承によれば天台大師（智顗）が隋の煬帝ようだい
に菩薩戒を授けた時、厳寒であったために煬
帝が自らの袖を破り、大師の首にかけたと言
われています。また、同じように桓武天皇か
ら伝教大師（最澄）に授けたとも伝わります
ので、現代でも被着できる方が限られている
のです。

―なるほど、伝統にのっとり細かく決められ
ているんですね。やはり天台僧の方は僧階や
衣の色などもあり、いわゆる上を目指して励
まれるのでしょうか？

京戸 基本はそうです。上がる資格は年齢、
法臘ほうろう（得度してからの年数）、前の階級から
の経過年数に加え、功績などで決まります。
ですので、基本は年齢と共にうまく上がって

いきますが、年上の方に合わせて、その下に
うまく収まるといった配慮もありますよね。
―年限と功績、浄土宗とほぼシステムですね。
というより天台宗さんをしっかり真似させて
いただいているのがよくわかりました（笑）。
ちなみに尼僧さんはどのくらいの割合でい
らっしゃいますか？

木内 全体で男女6千人ぐらいの中の139
0人が女性です。ですが、女性の場合は得度
だけという方が圧倒的に多く、教師となると
471人と少ないですね。

―寺院の組織構成ですが、浄土宗では全国、
各ブロック、教区、組、部になりますか、ど
のような構成でしょうか？

京戸 本山のほか全国に24教区あり、そこに
部が連なるかたちです。ブロックと組があり
ませんね。やはり浄土宗に比べると寺院数が
少ないので、都道府県ごとではなく信越教区、

四国教区など県をまたいでの区分けもありま
す。寺院数が多い教区は、叡山のある滋賀が
175カ寺、千葉県も多くて367カ寺あり
ますので南総(238)と北総(129)に分か
れています。ほかには群馬(259)、茨城
(211)、兵庫(173)、東京(164)、埼
玉(162)など。少ない県は広島(1)、秋田
(2)、徳島(3)となっています。

木内 補足すると、少ない地域は「もともと
なかった」のではなく、「残らなかった」と
いうのが正しいですね。廃仏毀釈で多くが廃
寺、もしくは改宗させられました。

◆廃仏毀釈と改宗、寺院数について

―江戸時代、浄土宗は徳川家の庇護のもと勢
力を伸ばしましたが、浄土宗に改宗した寺院
も多かったですか？

木内 改宗した先を調べると浄土真宗が一番

多く、続いて曹洞宗、そして浄土宗の順にな
ります。改宗寺院は地域性も色濃く、東北は
恐山など曹洞宗が多く、北陸はやはり浄土真
宗、山梨や静岡あたりは日蓮宗が目立ちます。
浄土宗は全国まんべんなく、ですね。

また改宗は信長、秀吉あたりの時代、いわ
ゆる比叡山が時代の渦で弱くなった時に増え
たようです。

―NHK大河ドラマ「麒麟がくる」では信長
によって比叡山が焼き討ちにされるシーンも
出てきましたね。

木内 焼かれた方なので悪く表現されますよ
ね(笑)。歴史はどういう視点で描くかによっ
て変わりますから。

京戸 伝教大師のお言葉に「怨みをもつて怨
みに報ぜば、怨み止まず。徳をもつて怨みに
報ぜば怨み即ち尽く」という教えがあります。
多少気になるシーンもありますが我々は徳を

もって返そうと（笑）。

実際、信長公の供養を今でも毎年9月12日に叡山山内で勤めているのですよ。

—そうなのですね。まさに怨親平等で徳を返されていますね。法然上人は天台僧だったわけですが、その生涯を学ぶ中で、父が宿敵に襲われこの世を去る間際に、少年だった法然上人に「この恨みを恨みで返すな」ということを言っていますが、伝教大師の言葉と同じですね。

ちなみに寺院数を教えてください。

木内 江戸末期には天台宗寺院が約1万カ寺あったといいますが、廃仏毀釈の際に神社や修験道と一緒にあった寺院はほぼ壊されました、檀家寺より信者寺の方が多かったため、檀家の少ない寺院はつぶれてしまいました。1万カ寺のうち、約7千カ寺は廃寺もしくは神社になって、残ったのは約3千カ寺です。

—そうなのですか。3分の1以下に減ったのですね。

◆寺院の等級と宗議会について

—続いて、お寺の格といいますが、浄土宗では等級というものが全か寺についています。等級が寺院の評価基準になっているのですが、天台宗さんではいかがでしょう。

木内 なるほど、浄土宗さんは等級が二桁までの数字で表されていますね。天台宗では1から12までの数字に続く数字が付き、1-2ですとか12-3などと表されます。数字が少ない方がより大寺ということになります。

—そうすると、12×3で36等級ということですか。

木内 はい。ただし、全ての等級に寺院があるわけではありません。

—浄土宗では本山等を除いて、1から56の56

等級に分けられ、少ない数字のほうが大きな寺になります。そしてこの等級に応じて簡数が決められて、課金や勧募などの場合はその簡数×指定の金額という形になります。

京戸 それは同じですね。檀家数や持っている土地の評価額などに応じて等級・簡数が決まってきます。

―かつては等級を、単に経済力だけでなく、格式、たとえば將軍に住職が一人で会える独礼や、複数でしか会えない惣礼といった寺格も加味されて等級が定められてきたようですが、現在の浄土宗では等級の基準が経済力だけになっています。その点はいかがですか？

京戸 天台宗はまだ寺格も基準の要素で、経済力と合わせた評価になっていますね。土地が狭くても等級が高い寺院もありますし、その逆もあります。

―なるほど。では宗の運営を司る宗議会につ

いてお聞かせ下さい。

京戸 宗議会議員は全国で29名。基本は教区から一人ですが、寺院数が多い教区は二人選ばれます。誰がなるかは教区内のバランスや人徳などで選ばれています。多くは全体的には宗内のことをよくわかっていらっしゃる方が議員になられています。

―浄土宗では比較的等級の高い寺院の方が議員になれる傾向があります。これは春と秋に1週間、議会が開かれますが、ここに寺院だけではやりくりできない兼職住職は出席できないわけですが、仕事は休めませんか。

ですから、どうしても大きな寺院から議員さんが出て、全体のおよそ8割を占める50等以上の、小さく経済力の弱い寺院の現場感覚が議会には届きにくい中で討論されることが多いようです。

木内 いわゆるお寺の格、特に大きさに準じ

て議員になるという風潮は天台宗では少ないと感じています。それよりも人望や宗内での発言力が大きい方が評価されて選ばれていると思います。

坂本 昔は役所や学校の先生と兼職する住職が多かったのですが、最近はいよいよ減りましたね。関西地域では比較的兼業職もまだありますが、それでもだいぶ減ったと思います。

京戸 大寺院が小さい寺院を兼務してきているという流れも増えましたからね。日光山や浅草寺などで働く方も多いですし。議会も同じように春・秋に開かれますが、一般の仕事をする人が減った分、うまく調整して議会に参加できる人が保っているのだと思います。

(つづく)

伝教大師 1200 年大遠忌記念

特別展「最澄と天台宗のすべて」

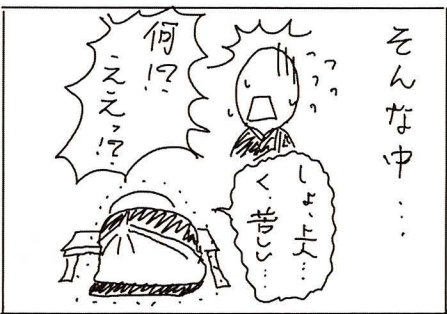
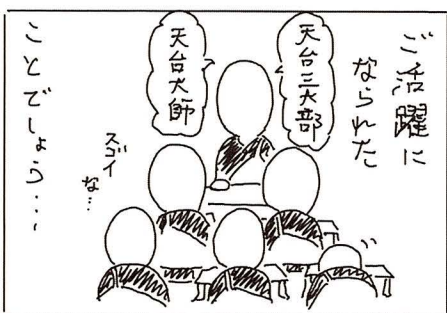
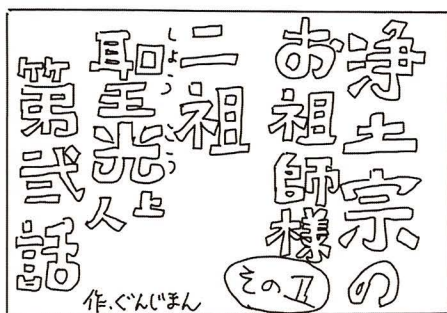
天台宗は、2012年4月1日から2022年3月31日までの10年間で、「祖師先徳鑽仰大法会（そしせんとくさんごうだいほうえ）」の期間としており、2021年6月には「宗祖伝教大師最澄1200年大遠忌」を迎える予定となっています。

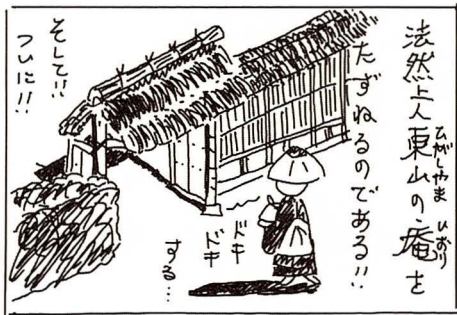
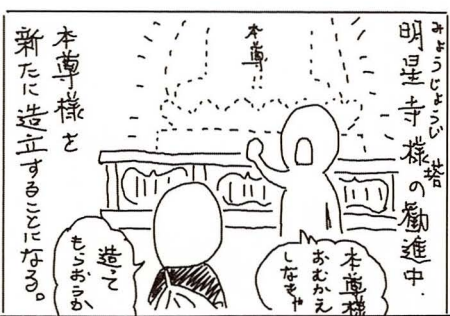
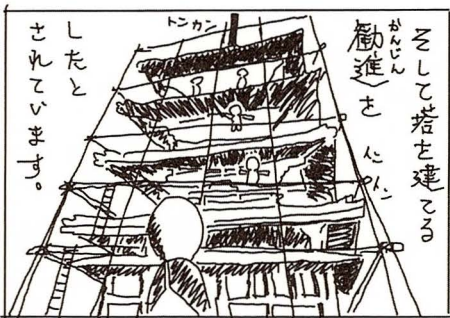
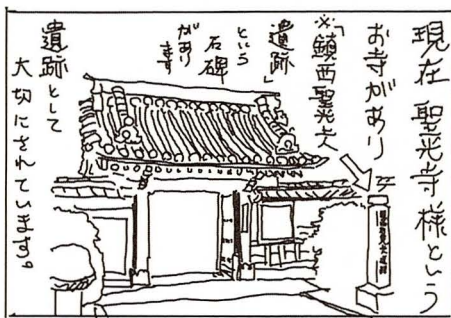
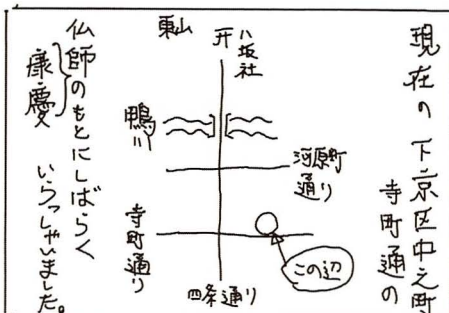
本展覧会は、最澄1200年遠忌の節目を期に、2021～22年にかけて、東京、京都、九州にある国立博物館の3館において開催、天台宗の総本山である比叡山延暦寺をはじめ、全国各地の天台宗諸寺院等が所蔵する国宝、重要文化財含む貴重な寺宝を一挙に紹介する貴重な機会となります。また、開催各館ではその立地を活かし、地域性にも重点を置き、各々特色ある展示となるよう意図しており、その競演にも注目いただきたいと思います。

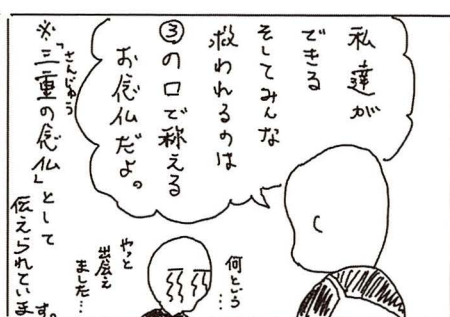
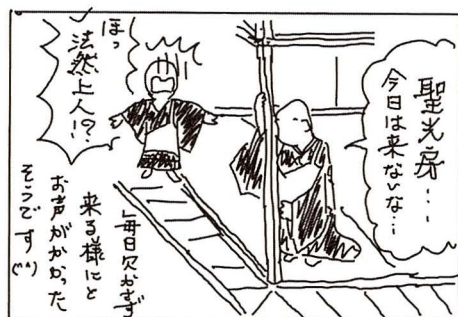
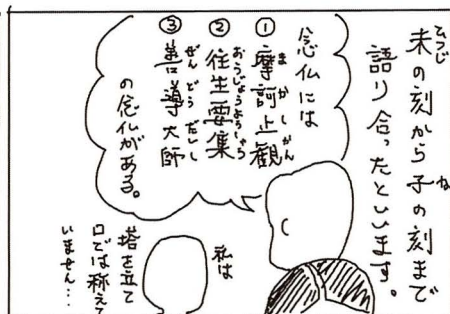
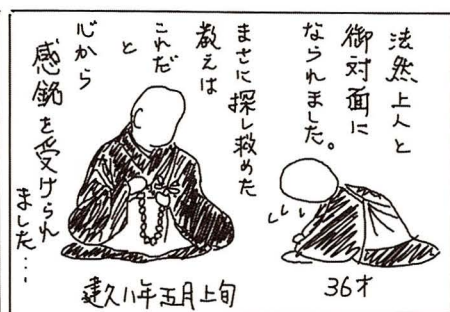
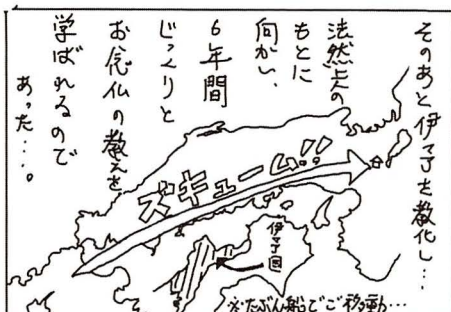
【会期・会場】

東京国立博物館	2021年 10月12日(火)～11月21日(日)
九州国立博物館	2022年 2月 8日(火)～ 3月21日(月・祝)
東京国立博物館	2022年 4月12日(火)～ 5月22日(日)









石田 一裕



微

風

吹

動

鬼と餓鬼

鬼は人間だったんだから
俺と同じ人間だったんだから

『鬼滅の刃』第21話より

全集中の呼吸、鬼、竈門炭治郎（かまどたんじろう）

昨年の後半は、こんな言葉を聞く機会が多かったことでしょう。これは『鬼滅の刃』という漫画アニメのキーワードです。この物語は緑と黒の市松模様の羽織を着た主人公が、刀を振って鬼を倒す物語で、映画化された作品が大ヒットし、映画興行収入は『千と千尋の神隠し』の三百十六億円を超え、国内で上映された映画の一位に躍り出ました。

この物語には南無阿弥陀仏や『阿弥陀經』など仏教的な言葉、それも浄土宗に欠かせないものが出てきて、子供たちやその親が仏教に触れる機会になっています。法話でも『鬼滅の刃』に南無阿弥陀仏ってでてくるでしょう」といって、お子様の反応が良くなります。

さてタイトルはご存じでも、内容はあまり知らないという方もいることでしょうから、ここで紹介してみたいと思います。

『鬼滅の刃』は竈門炭治郎という主人公が、「鬼」を倒す物語です。炭治郎は家族を鬼に殺され、妹の禰豆子（ねずこ）を鬼にされてしまします。そして彼は鬼退治を決意し、修行を積み、鬼殺隊（きさつたい）という鬼退治の組織に入り、実際に鬼を倒していくというお話です。

はじめは『週刊少年ジャンプ』に連載された漫画でしたが、アニメ化され人気が出て、さらに映画化されて爆発的ヒットとなりました。

いしだ いちゆう 1981年北海道稚内市生まれ。神奈川教区光明寺住職。博士(仏教学)。浄土宗総合研究所研究員、大正大学非常勤講師。専門はアビダルマ仏教、著書に共訳『【現代語訳】浄土三部経』(浄土宗、2011)など。

『鬼滅の刃』は仏教の言葉が出てくる点で興味を引かれますが、ここでは敵役の「鬼」に注目してみましよう。

この物語の鬼は、人が変化したものです。はじめの鬼であり、鬼の頭領である鬼舞辻無惨(きぶつじむざん)には人を鬼にする力があります。鬼になるのは、人に対して恨みを抱いていた、人生を呪っていたり、負の感情をもっている人です。そのような人に無惨が自身の血を与えると、鬼が誕生します。そして負の感情が強ければ強いほど、鬼の力は強くなります。鬼は闇の中、人を食べて自身の存在を保ちます。

仏教の鬼、すなわち餓鬼がきにも似た点があります。『正法念処經』しやうぽうねんじよきやうによると餓鬼道に生まれるのは吝嗇や嫉妬が原因とされます。地獄に生まれるのは殺生などの悪い行いによりますが、餓鬼となるのは負の感情を強く持つからといえます。この意味で、『鬼滅の刃』の鬼と餓鬼には共通点を見出せます。

さて、この鬼の弱点は日光です。日光に弱い魔物というドラキュラが思い出されますが、鬼もまた日光が弱点で、陽の光を浴びると消滅する存在です。鬼を倒すもう一つの方法は日輪刀にちりんとうという特別な刀で首を切り落とすことです。鬼を倒す鬼殺隊の剣士達は日輪刀を振るい、様々な鬼を倒していきます。

鬼が陽の光に弱いということは、浄土宗の文脈で考えると、二つの考え方で理解することができます。

一つは知恵の火が煩惱を断ち切るという見方です。煩惱によって鬼は生まれます。その意味で鬼は煩惱が具現化されたものです、それを陽の力が込められた剣で断ち切る。煩惱を断ち切る日輪刀は、まるで利剣名号のようなものでしょう。

他方は阿弥陀如来の光が餓鬼道を照らし、苦しみを和らげ、命終ののちには浄土へと導くことと対応します。『無量寿経』の「光明歎徳章」や「餓鬼回向文」に説かれるところと一致する考え方です。

『鬼滅の刃』は主人公とその仲間たちが鬼を倒していく冒険活劇ですが、主人公の炭治郎は倒される鬼にも思いを寄せます。鬼の悲しさ、虚しさに思いを馳せ、鬼を倒していく主人公の思いは、徐々に周りの人の心を動かしていきます。その気持ちの変化をうまく描いている点もこのアニメがヒットした理由の一つでしょう。

出会いや環境によっていつ餓鬼となるかはわからないのが凡夫の性。『鬼滅の刃』はそんなことをも感じさせる物語です。

沢山の人が見ている物語を仏教の視点からお話することで、興味を引くこともあるでしょう。涅槃会やお彼岸の法話のネタにぜひご覧になって見てください。

法然上人鑽仰会の経過

前編

仏教復興の 気運の中で

佐藤賢順

湖畔の朝露が冷たかった。落葉松の林を縫って風と一緒に朝露の「散歩」が一通り終わると、富士の頂界線がはっきりと浮かび出る頃だったから、もう八月も秋の立った頃だと憶えている。岳麓山中湖畔はもうすっかり秋だった。

大智度論の翻訳に専心している眞野氏を驚

かして、湖畔の山荘を訪れた岩野氏、友松氏などが偶然おちあつて、喧々諤々、話はそれからそれへと何時尽きるとも思えなかった。その、ようやく濃厚になつてきた仏教復興の気運も論好話題であつた。「仏教復興の将来はどうなる？」——これがひとわり論じられると、とうとう「仏教復興の将来をどうする？」実践論に入つた。

仏教の復興の気運が何時まで続くか。これはたとえうつろい易い時世の流行であつたとしても、その流行を一日でも長く続かせることが我々の責務ではないのか。この傾向が一時の浮ついた流行から反省期に入つて、地道な方向を辿るようになった時こそ、本当に仏教の思想と信仰を社会に、現代に活かさなければならぬ時だ。それには真に偉大なる具體的人格を目標とし、その偉大さを本當の意味で、強く活かさなければならぬ——。

さとう・けんじゅん 1899(明治32)年～1962(昭和37)年。東京生まれ。品川・願行寺28世。西洋哲学、宗教学者。宗教大学(現大正大学)で宗教部、早稲田大学の西洋哲学専攻科で学ぶ。法然上人鑽仰会設立に参画、また仏教信仰のラジオ放送を行う。著書多数。

話の途切れ途切れには、明澄な空気を通して小鳥の声がハッキリと聞こえてきた。

× × ×

秋になると再々の会合が催された。学会の權威、中堅、教界関係の長老、き宿、社会教化の一線に立つ人々など、ご多忙の中を代わり代わり参集を願つて、「何を為すべきか」についての具体的な協議を進めた。

その結論が法然上人鑽仰会の設立である。強く一世を指導するためには、実践を通して信念を養わねばならぬ。実践は具体的なる偉大な人格を師表としなければならぬ。時代が真に要求しているものは、興味本位の仏教物語ではない。我々の意識の内奥深く呼びかけてくる偉大な人格の言葉である。僅か三十分の毎朝の聖典読義に、出勤を控えて愴惶として食事を急ぐ勤め人が、絶えて久しく取り戻したことのなかった「反省」を取り戻して、

つい聴き惚れたではないか。現代人は、ある意味では反省を回避しているとも言えよう。人格の呼びかけ、意識の目覚め、それこそ時代が秘かに、しかし痛切に希求している要求なのである。

さて、ところで具体的にして偉大なる人格をどこに求めるべきであろうか。法然上人こそ我々の知れる最大の人格である。

× × ×

鑽仰会設立の発願が同志の間に進められていることが一度伝えられると、未だ公には発表していないのに、各地方、各方面から精神的物質的の援助がきょう然と集まってきた。誠に涙ぐましい献心献財であり内護外護である。献金もたちまち一万円を突破した。労力を捧げようとの篤志は引も切らない。これも上人鑽仰会なればこそである。諸般の準備を進めているうちに本年に入った。(つづく)

第二回

森清鑑

江戸 日本の街道探訪

家康の
全国道路網
造り

宿駅制度の導入

家康は、画期的な道路行政を導入する。それが宿駅制度である。大街道及び重要な脇往還に、宿駅を設ける。つまり、一定の距離ごとに宿場を設け、宿泊、休息施設の他に情報伝達業務、物品配送、為替業務などを扱う駅通事務施設を設けるというのである。そして、その施設を問屋場といやと名付けた。近世の郵便局。こうして街道は、通信ルートに変貌することになった。

伝馬てんま制度の導入

伝馬制度とは、あらかじめ人馬を宿場に常備させておく、書状や荷物を宿場から宿場へとリレー伝達する駅伝制のことである。伝馬とは、公用の人や荷物の次ぎ送りに使われる馬のことをいう。家康は始め、東海道の数宿場に、伝馬36頭を常備しておくことを義務付けた（伝馬てんま定書だめがき）。

しかし、その後駅通業務が爆発的に増加したため、1639（寛永15）年より東海道の各宿場には人足1000人、伝馬100頭の確保を義務づけることになる。

幕府は伝馬朱印状や伝馬手形を発行。朱印状を持つ者には無償で伝馬が貸与された。また、公用旅行者は朱印状と同じく、伝馬手形を持参し提示すれば馬を借り受けることができた。宿場村には人馬提供の見返りに年貢の免除といった特典が付与された。

宿場を構成する施設

◆問屋場といや

問屋場は書状・物品などの受け渡し業務、宿場から宿場への取り次ぎ業務をするところである。

人足、伝馬の差配いわゆる継立つぎだて業務も行う。必要な人馬を宿場周辺の村に提供させる助郷制度の管理にも携わった。したがって問屋場は物資輸送

の手配、管理、通信業務などの全てを取り仕切る権限をもっていた。ここには通常宿場の代表者や役人が詰めており、施設は宿場全体の中心部に設置されていた。

◆宿泊施設

〈本陣〉

大名、公家、幕府役人などが公用旅で宿泊する施設である。大名が参勤交代で宿泊する常宿だけに防備、警備体制が整った間取りを備えている事が必須条件。

〈脇本陣〉

本陣に次ぐ位の武士、公家などが宿泊する施設で、空いているときには一般旅行者も宿泊できた。

〈旅籠〉

一般旅行者用の食事付き宿泊施設。

〈木賃宿〉

一般旅行者用の自炊宿泊施設。

〈茶屋〉

旅人向けの休憩場。一膳飯、茶、酒などを提供。

〈商店〉

旅人向けに土産物、旅の必需品などを商いする。

〈その他の設備〉

高札場…幕府の禁制、通達事項を示す掲示板。

宿場は大勢、人が集まるところだけに、この高札場が常設されている。

木戸…宿場の入り口と出口には木戸門があり、夜間は防犯のため閉鎖される。木戸門の処には、大抵、常夜灯が設置されていた。

枡形門…枡形門を備えた宿場もあった。これは宿場の両端にクランク状に互い違いに木戸門を設置し、簡単に素通りできぬようにする備え。城郭の枡形御門と同じ発想で宿場全体がデザインされている。

宿場の発展

宿場の規模は江戸中期以降、さらに大きく発展

〈五街道の宿場町〉

	宿駅数	本陣	脇本陣	旅籠屋
東海道	57	116	70	3,103
甲州街道	45	41	44	525
中山道	67	72	99	1,812
日光街道	23	25	27	820
奥州街道	10	11	11	267

し、結果、宿場経済が地方経済を豊かにしていく。江戸中期における五街道の宿場数（宿駅数）、本陣、脇本陣、旅籠屋の数を一覧すると次の通り。規模は東海道が最も大きく、宿駅数57、本陣の数116軒、脇本陣70軒、旅籠屋の総数は、なんと3、103軒に及んでいる。

飛脚制度の発展

飛脚とは信書、金銭、為替、貨物などを輸送する職人である。江戸期の交通手段といえば「馬と駆け足」ということになるが、駅通の発展にともなうて飛脚が輸送・通信制度を担うようになる。

公儀文書を扱う継飛脚、諸藩の文書を扱う大名飛脚、武士も町人も利用する飛脚屋・飛脚問屋などに分けられる。時間的種別としては普通飛脚、急を要する早飛脚がある。飛脚が扱う物は信書、小荷物、果ては金銀にまで及んだ。問屋場には飛脚問屋が詰めており、受け渡し事務を行った。飛脚は宿場から宿場へと問屋場に駆け込んだのである。通信業務はじめは武士階級が主な客だったが次第に一般町民に浸透していく。

宿駅経済の最大発展要因は参勤交代制度

宿場を中心に経済活動が発展し、街道流通が活

発化すると宿駅制度は、経済、文化の両面に大きく寄与することになる。各地の文化が江戸にもたらされ、江戸の文化が各地に広がる。しかし、宿駅制度の経済的發展を大ならしめた最大の要因は大名の参勤交代にある。参勤交代は宿駅制度、街道整備があつてはじめて、実現した制度とも云えるが、全国約250の大名が2年に一度、江戸との往復で大変な金額を宿場に落として行つたのである。

1635（寛永12）年三代家光は参勤交代制度を導入する。大名は2年ごとに江戸に参勤。一年たつたら自分の領地に引き上げる。すなわち大名は1年おきに江戸と領地を行き来しなければならぬ。しかも旅費、江戸滞在費ともに大名負担である。毎年4月将軍との会見を目指し、一斉に全国250余の大名が動くのだから大移動である。

参勤交代にはどの程度の人員を要したのであるか。人数、様式、規模は大名の格式によって当

然異なる。ちなみに代表的な例として加賀百万石を取り上げてみよう。加賀藩の参勤交代は、平均、2,500人から3,000人規模で、最大では4,000人に達したという。また紀州徳川家は武士1,639人、人足2,337人、馬103頭と記述している。危険な長旅でもあるので信頼できる配下の武士を集めることは無論のこと、中にはかかりつけの医師、茶の湯の家元、鷹匠まで同行のケースもあり、専用の風呂釜や多数の手回り品まで持ち込む大名もあつたという。

さて、その費用はいかほどであつたろうか。

伊達家（仙台藩）

江戸までの道程92里（368km） 日数8～9日

行列規模2,000～3,000人

経費3,000～5,000両。

前田家（加賀藩）

119里（476km） 13日

2,000～4,000人 5,333両

池田家(鳥取藩)

180里(720km) 22日

700人 5,500両

伊達家(宇和島藩)

255里(1,020km) 30日

500~500人 986両

島津家(薩摩藩)

440里(1,760km) 40~60日

1,880人 17,000両

とある。島津家の17,000両は、最遠方の結果といえはそれまでだが、それにしてもとんでもない金額である。

通常、藩収入の5~20%が参勤交代の旅費で消えたと云われているが、これに江戸での滞在費を加えると50%を超えることになるという。

加賀前田家の、ある年の参勤交代にかかった費用は5,541両であった。これを現在の貨幣価値に換算すると約4億3,000万円。これに手

間賃、労賃などを加えれば約6億9,000万円

にのぼるという(忠田忠雄「参勤交代道中記」)

参勤交代の費用はとにかく想像を絶するもので、加賀藩の費用は片道平均5億円にもなる。

参勤交代費用の内訳

参勤交代の費用の内訳を見ると、

1 旅籠賃

2 川越賃

3 予約解除の保証金

4 幕府要人への土産代など
となっている。

宿場に落とす旅籠賃は、1818(文政元)年の加賀藩2,000人規模の参勤費用内訳を見ると、藩主が本陣に泊まると一泊280文(一文30円として8,400円)と意外に安い。ところが本陣に泊まる警護の家来が100人とする一泊84万円。本陣に馬を泊めると1頭500文(1泊

15、000円)。これは高い。他の家来1、900名が最下級の宿に泊まったとしても一泊計912万円になってしまう。

かくてお供の武士2、000名規模で一泊1、000万円が飛ぶ。何事もなく順調に予定通り12泊で江戸に着いた場合でも1億2、000万円。4、000名の大名行列になると倍の2億4、000万円。通常は予定通りには行かない。現実には、加賀藩の場合、片貝川、犀川、千曲川などの川留めで18泊19日になるのが当たり前。となると旅籠代だけで恐ろしい金額になる。

全国250もの大名が宿場に2年に一度、確実に投資するわけだから、宿場にとっては大きな安定収入となる。参勤交代の経費は無論、旅籠代だけですむわけはなく、問屋場（通信費、物品輸送など）やその他諸々の経費が必要となろう。かくて参勤交代制度は宿場の発展に大きく貢献することになった。

（つづく）

もり せいがん
1941年東京生まれ。大学卒業後ドイツ系
商社に入社。その後、海外情報、広告・マー
ケティング調査・分析、インフォメーション
オンデマンドサービス事業に携わる。廃棄
物関連調査 Mori & Associates 主催。

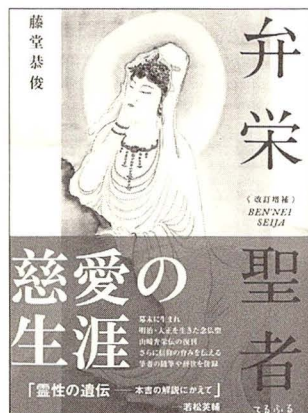
文書伝道の集い「てるふる」一同

(吉水岳彦 東京・山谷 光照院住職)

近代浄土宗における代表的な信仰運動の一つに如来光明会があります。この主唱者は昨年百周忌を迎えた山崎弁栄上人で、三昧発得の聖者であり、直接感見したといわれる阿弥陀如来様をはじめとする諸尊の聖容を多く描き残したことで知られる人物です。近代浄土宗を語る上で欠かせない方の一人です。

藤堂恭俊台下著 『弁栄聖者』 改訂増補版としての復刊

みんなの
境内



生涯で一度も仰せになったことはないのですが、往生浄土を否定して「悟るための念仏」を説いたと語られることもあります。実際には、出会うすべての人に、お念仏を申す日暮らしを勧め、現世から阿弥陀如来様の

光明のうちに育まれながら生き、臨終の夕べには極楽往生を遂げることが願って布教をされていました。今回の復刊の大きな理由の一つは、そうしたさまざまな誤解を払拭することにあります。

もう一つの理由は、わたしたち浄土門に属する者の模範となる、本書著者の藤堂恭俊台下の尊い信仰の歩みを、ご遷化から20年になる今年、多くの人にも知っていただきたいと思ったからです。藤堂台下は、人間の性である煩惱に振りまわされる凡夫だが、念仏信仰を得ることで如来様の光明のうちに育まれてゆく、人間としての成長を信じて道を示されました。本書を手にとっていただく方には、その想いと実践のお姿を、台下の随筆や最期の手記と共にご覧いただきたいと願っています。合掌

編集後記

「成就寺院という項目を個人情報保護のために敢えて外しました」

「檀林入寺帳データ化」は全国の浄土宗寺院の歴代住職の足跡をたどれる貴重な資料だ。そのデータ化に一人取り組まれた東京八王子・興林寺阿川雅俊住職が、取材に同行した私の自坊の歴代データを整理してくれていた。データベースCDでは外された成就寺院欄を見ると、現在法類寺院との江戸時代の関係が記されていた。なぜ法類代表なのか、という長年の疑問がひと目で氷解した。

この成就寺院情報、希望があれば提供します、と阿川住職。ただし住職からの直接の依頼が条件。史料焼失等で自坊の

歴史を紐解けない、という寺院にとつては朗報かと。

「鬼滅の刃」の勢いが止まらない。流行当初にビデオで見始めたが、その激しい血潮に耐えられず十数話で断念。とはいえ、仏教にも通じる超人気漫画。映画に挑戦せずば……。

今号より天台宗僧侶が誌面に登場。

浄土宗を開宗した法然上人はもちろん、鎌倉諸宗派のお祖師方も天台僧だった。そこで、「浄土宗の青年僧に伝えたいぶつぶつ放談」で、天台宗を皮切りに「他宗を知ろう」シリーズをスタート。

話を聞き出すと、決まった差定がない、千日回峰行は宗主催の行でなく一寺院の

雑誌『浄土』

特別・維持・賛助会員の方々

飯田実雄(駒ヶ根・安楽寺)
 藤谷勝正(目黒・祐天寺)
 魚尾孝久(三島・願成寺)
 加藤昌康(下北沢・森厳寺)
 河本悠大(函館・称名寺)
 桑原恒久(川越・蓮馨寺)
 桑原勇慈(甲府・瑞泉寺)
 佐藤孝雄(鎌倉・高德院)
 佐藤久雄(品川・願行寺)
 佐藤良純(小石川・光園寺)
 東海林良昌(塩釜・雲上寺)
 高口恭典(大阪・一心寺)
 中島真成(青山・梅窓寺)
 中村康雅(清水・実相寺)
 中村瑞貴(仙台・愚鈍院)
 成田昌憲(世田谷・大吉寺)
 野上智徳(静岡・宝台院)
 長谷川岱潤(東京・戒法寺)
 藤田得三(鴻巣・勝願寺)
 堀田卓文(静岡・華陽院)
 本多将敬(両国・回向院)
 松濤泰彦(芝・寶松院)
 水科善隆(長野・寛慶寺)

(敬称略・五十音順)

ホームページ jodo.ne.jp/

メールアドレス hounen@jodo.ne.jp

行だったなど知らないことだらけ。浄土宗という宗派を知る為にも八宗兼学の精神は大切なよう。天台宗3回シリーズ、どうぞ読み忘れなく。(村田)

編集長 編集部員

村田洋一
斎藤晃道
佐山哲郎
青木照憲
平井泰代子
本原亮道

浄土

八十七巻二・三月号 頒価六百円
年會費六千円

昭和十年五月二十日第三種郵便物認可

印刷 令和三年一月二十日
発行 令和三年一月一日

発行人 佐藤良純

編集人 長谷川岱潤

印刷所 株式会社 映印刷

〒一〇五・〇〇一一

東京都港区芝公園四・七四明照会館四階

発行所 法然上人鑽仰会

電話 〇三(三三)五七八 六九四七

FAX 〇三(三三)五七八 七〇三六

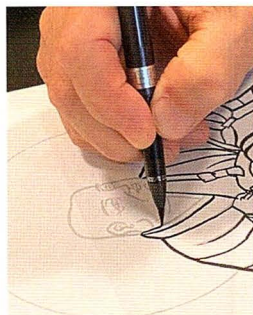
振替 〇〇一八〇・八・八二八七

「お試しセット」 申し込み書

写経、写詠歌、写仏ともA4版奉書に書かれた文字や絵を筆ペンなどでなぞり書きする仕様です。

写経は写し終わったあと、経本にもなります。

写仏シリーズは、浄土宗僧侶でもあり仏師の京都在住、前田昌宏師に特別依頼、美しい姿をお写しできます。世情柄、新型コロナウイルス感染防止を祈念しながら写仏してはいかがでしょうか。



申し込み日 令和 年 月 日

お名前 浄土宗寺院 _____ 寺・院 _____ 教区 _____ 組 寺院番号 _____

個人 _____

電話番号 _____ ※携帯電話でも結構です

ご住所 〒 _____

【特別セットの申し込みはこちら】

「お試しセット」特価 1,800円を _____ セット申し込みます

※特価につき3セットまで、そして令和3年3月末日までとなります。

【通常セットの申し込みはこちら】 ※通常セットが新価格となりました。

写 仏 _____ セット (1 セット 6 枚 5 組 頒価 5,000 円)

写 経 _____ セット (1 セット 12 枚 5 組 頒価 6,000 円)

写詠歌 _____ セット (1 セット 5 枚 5 組 頒価 3,000 円)

※送料と消費税は頒価に含みます。※お届けまでに最長2週間かかります。

お申し込みは本ページをコピーご記入の上 FAX、またはメールにてお願い致します。

お支払いは同封の払い込み用紙でお振り込み下さい。

法然上人鑽仰会

FAX 03-3578-7036 Mail : hounen@jodo.ne.jp

お問い合わせは 電話 03-3578-6947

写経・写詠歌・写仏 お試しセットの 特別販売

法然上人鑽仰会
からの
お知らせ

お試しセット
1セット **1,800円**

【写 経】

1組 (12枚)

「日常勤行式」

香燭から送仏偈まで

【写詠歌】

1組 (5枚)

「法然上人の和歌5首」

月かけと四季のご詠歌

【写 仏】

1組 (6枚)

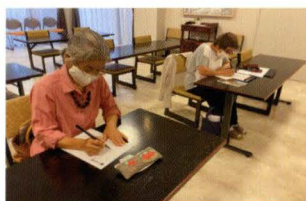
「阿弥陀三尊」

「薬師如来」

「法然上人」

ほか

コロナ禍だからこそ、心を落ち着かせられる写経、写詠歌、写仏のご案内です。今回は通常セットの他に、ご住職ご寺族にお試しいただくためのお試しセットを作りました。この機会（2021年3月末日まで）にぜひ一度お試し下さい。



写仏は仏師
前田昌宏師
のオリジナル！

特価で
お届けします！

お試しセットは、
写経、写詠歌、写仏の3種類を
各1組ずつをセットにしたものです。

《お申し込みは裏面へ》